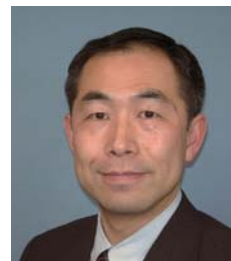


トンガ国防災ICTプロジェクトが完成

田村 正人
(事業部門長)



1. はじめに

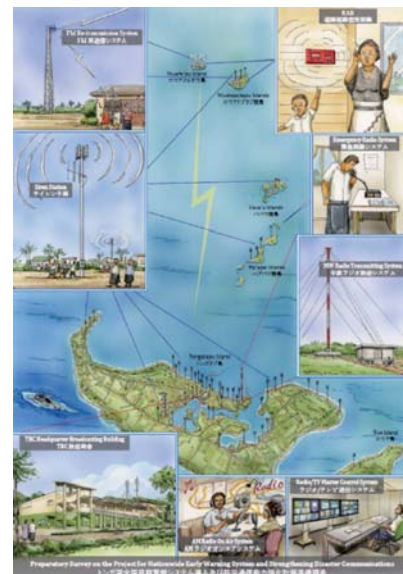
当財団が2012年から着手した、南太平洋の島嶼国、トンガ王国（以下、トンガ）における防災ICT案件形成の取り組みは、現地政府との共同研究及びパイロットプロジェクトにより実績を積み、その後、独立行政法人国際協力機構（JICA）による準備調査を経て、2018年に我が国の無償資金協力プロジェクトとして実現されることになりました。当財団では2018年7月にトンガ政府から共同企業体として同プロジェクトのコンサルティングサービスを受注し、途中サイクロン災害やコロナ禍の影響で中断を余儀なくされましたが、今年2022年9月に現地において完成式典が開催されコンサルティング業務が概ね完了しました。プロジェクト概要についてご紹介します。

2. プロジェクトの概要

このプロジェクトの正式事業名は「全国早期警報システム導入及び防災通信能力強化計画」(The Project for Nationwide Early Warning System and Strengthening Disaster Communications)です。長いため関係者間では英語名の頭文字を取り「NEWSプロジェクト」と通称しています。

トンガ全土に緊急無線システム、早期音響警報システム及びトンガ放送委員会（TBC）のラジオ放送局の機材・施設を整備することにより、自然災害にかかる警戒情報や安全情報の迅速な伝達を図り自然災害による被害の軽減に寄与するものです。我が国からの無償資金の供与限度額は、32.94億円、詳細設計・入札期間を含め構築、引渡しまで途中工事中断期間を含め約4年間で完了させました。

本事業の全体像は右図及び下表のとおりで、当財団では防災ICTに関連する下表の下線部分のコンサルティング業務を担当しています。

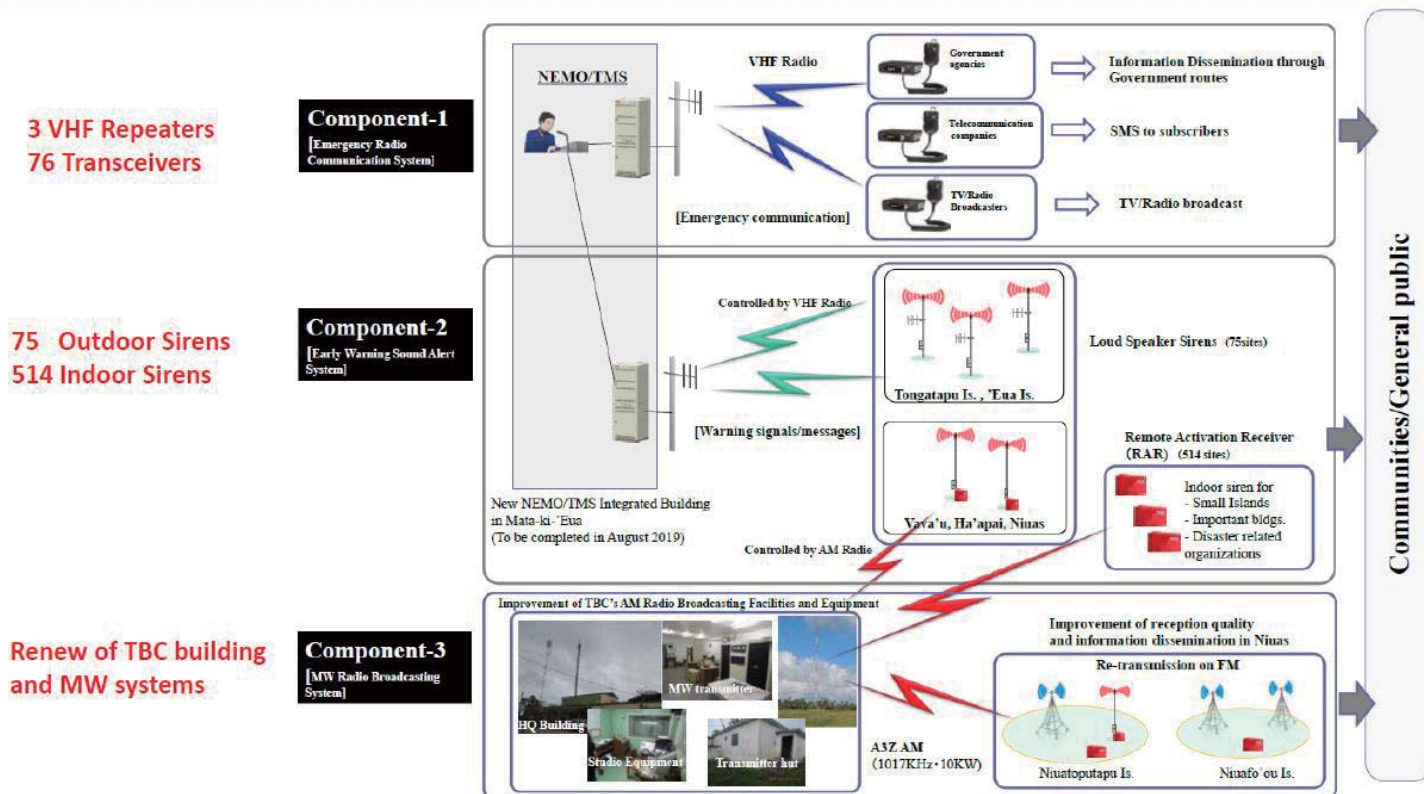


プロジェクト全体イメージパース図
(JICA 本計画準備調査報告書より)

(JTCC の担当範囲) 下表の下線部分

区分	内容
建物建設	TBC 放送局舎及びボブア送信所中波送信機建屋の新築
機材調達	(1) <u>緊急無線システム (コンポーネント1)</u> 防災関連組織間の緊急通信用無線システム (固定中継局 1、可搬中継局 2、固定無線局 15、車載局 17、携帯局 18 他) (2) <u>早期音響警報システム (コンポーネント2)</u> 津波脆弱地域を対象とした音響による早期予警報伝達システム (屋外サイレン 75 箇所、屋内サイレン (RAR) 514 台) (3) TBC ラジオ放送システム (コンポーネント 3) ・中波ラジオ放送システム ・Niuas 諸島における FM 再送信システム (3 箇所)
設計・施工/ 調達監視	(1) <u>詳細設計、入札支援及び施工/調達監視 (上記担当範囲関連)</u> (2) <u>ソフトコンポーネント (上記担当範囲関連)</u>

Project Components



Source: JICA Project Team

プロジェクトのコンポーネント全体図

3. プロジェクト実施体制

3.1 コンサルタントの体制

本事業は、公共放送局の局舎、緊急無線システム、防災早期音響警報システム、中波ラジオ放送システム、FM ラジオ再送信システムなど、新規開発技術を含む多岐に渡る要素から構成されており、さらにトンガの防災能力強化のためのソフトコンポーネントも含むことから、コンサルタントは複数の企業が連合した共同企業体（八千代エンジニアリング㈱、(一財)海外通信・放送コンサルティング協力、国際航業㈱共同企業体）を構成し、連携・分担して業務を提供しました。

3.2 コントラクターの体制

コントラクター（請負業者）側も同様に単一業者では実施が困難な事業であることから、施設建設業者と機材納入業者による日本企業コンソーシアム（The Consortium of NBK Corporation and Dai Nippon Construction）が受注し、施工、据付を実施しました。本事業は我が国の無償資金協力事業であるため、各種機材は原則として日本製を採用しています。複数の大手日本の機材メーカーが前述コンソーシアムのサブコントラクターとして参画しました。

3.3 施主側の体制

被援助国側の実施機関は、政府の省名としてはおそらく世界一長いのではないかとされている「気象・エネルギー・情報・災害管理・気候変動・通信省」（通称、MEIDECC）で、トンガ放送協会（TBC）に関連する部分についてはTBCが表に出ています。小さな島嶼国の常でトンガもご多聞に漏れず、施主側のリソースが脆弱ことに加え、現地のゆっくりとした時間の流れもあり、プロジェクトを計画どおりに進めることは大変です。それでもトンガ国民は総じて勤勉かつ誠実で親日度も高く、比較的治安も良いため仕事し易い国でした。